

こんにちは

-No. 49

日本共産党 東村山市議会議員



山田たか子です

山田たか子事務所

TEL 395-4973

携帯090-5824-7597

<秋津事務所>

秋津町4-39-71

<青葉事務所>

青葉町2-28-6



3月議会

代表質問に立ちました ②

Q. 学校のコロナ感染が毎日のように報告。これまでと同じ感染対策で良いの？

A. 教室内に空気の流れができるよう心がけ、体調を崩さないよう、衣類調整で防寒対策を柔軟に対応。
⇒密が避けられない教室。全学年少人数学級を求めます。



Q. 市民から、職員対応に対する苦情が届く。職員の仕事が過重となっていないか。

A. 新年度に9名増員するが、職員人数は概ね適正。
⇒職員の余裕の無さが、市民対応に反映される。職員からも増員要望があり、まだまだ職員の人数が足りません。

Q. 小さな事業者ほど影響を受けるインボイス制度に対する見解を伺う。

A. 益税（消費者が支払った税が、事業者の利益となること）の課題解決につながる。制度への円滑な移行を支援する。
⇒免税事業者は年間売上1,000万円以下で、負担軽減のため法的に認められている。ズルをしている印象を与える「益税」など、市長が発言するべきではありません。

Q. 今こそ、核兵器廃絶平和都市宣言をおこなっている本市が、国に核兵器禁止条約への参加を求める時ではないか。

A. 平和学習や平和展の開催等を通じ、平和について市民に広く関心を持っていただくことが市の役割。
⇒世界の流れとなっている核兵器廃絶。率先して実現に向けた取組が重要です。

Q. 公共施設のインターネット環境の整備を求める。

A. 市役所1階等、既に使えるところがある。民間事業者は、自動販売機を活用した無線LANを設置。災害時には学校も市民に開放する。
⇒公民館等でオンライン会開催など、利用者が準備している。市役所や議会だけではなく、市民の利便性向上を。

Q. 市内事業者への支援が、新たな取組（販路拡大、新設備導入、事業所増設など）に重点が置かれていないか。

A. コロナ収束後に反転攻勢できるような支援が重要。
⇒大きくすることはばかりではなく、事業の安定を望む声への支援も重要です。

他国への侵略 絶対にダメ!!
今立ち向かう相手は
コロナと気候危機でしょう!
各兵器いらない!!
戦争反対!! 戦争反対!!



活動報告・今後の日程

3月29日 スピーキング
テスト中止大集会

オンラインと会場で150名超の参加者となりました。一事業者に任せる事、その選定経過なども明らかにされました。生徒も教員も保護者も、誰も望んでいないテスト。誰のためのテストなのでしょうか。子ども達の学力向上のためであれば、少人数学級の実現は不可欠です。

4月10日 日本共産党
オンライン演説会



ご自宅のパソコンやスマートフォンから参加できます。日本共産党を知るチャンスです！ぜひご視聴ください。



5月8日 東村山を変える
超党派議員連盟議会報告会



●東村山市立社会福祉センター 第1・第2会議室
2022年5月8日(日) 14:00~

鈴木麻子 さとうさつき 山田たか子 渡辺みゆり
浅見みどり 藤田まこと 山口みよ

新年度予算から見える市政運営

●デジタル化を急進展●



デジタル関連予算総額 11 億円中、9 億円は市税です。CIO(最高情報責任者。当市では副市長)補佐官(報酬は30万円/月、登庁は週に2~3回)を民間から登用し、国が求めるデジタル化を進め、「市民サービスの向上」を掲げています。2022 年度中には全市民のマイナンバー導入を目指す方針です(国民の資産状況や健康状態等を管理し、国の社会保障費負担削減が国の狙いのひとつ)。また、利便性の一方で、以下の未解決課題があります。

- ①情報を守る仕組みは徹底しているの？
- ②情報漏えい時の被害救済策は？
- ③罰則規定はどうなっているの？

国が進めるままで、市は市民生活を守ることができるのでしょうか。

明るい未来を描くことは必要です。でも、いま苦しんでいる方々が沢山います。誰一人とり残さない市政・市の持続性のためには、弱い立場の方々の声をしっかりと受け止めなければなりません。市民が元気になれば、必ず明るい未来がやってきます。

●小学校給食のあり方検討会●



古くなった小学校給食調理室。“安心安全な給食の持続化”を検討するとのことですが、施設再整備の際、現在活用している給食室も無くす話が出ています。今後の動向には要注目です。市内では、都内でたった3市となった中学校給食の選択制。災害時には、大事な機能を果たしている学校施設の給食室。中学校にも必要です。再整備は、こうした課題こそ改善するチャンスです。

●市内公園を民間委託へ(指定管理者制度)●

市は 169 か所の市内公園の管理・運営を全て民間事業者へ任せてしまいます。樹木の高木老木化・繁茂、遊具の不具合等、十分な予算をつけず、計画的な管理をしてこなかった結果が、今を迎えています。委託に2億円。この予算があれば、これまで通りに市が対応できたのではないのでしょうか。

▶委託で経費削減と言うけれど…



経費削減で真っ先に狙われるのは人件費。低賃金・非正規労働を市が促進することにならないでしょうか。委託によって公の役割・責任が遠のき、市民の声や顔が見えなくなる可能性も考えられます。市の仕事は、市が責任を持ってやるべきです。

憲法改悪を止めたい！ 署名に取り組んで ②



憲法改悪ストップの署名中、「憲法。よくわからないから」と、言われることがあります。

憲法は「権力者から国民を守るためのもの」(私は恥ずかしながら、大人になってから学習しました)であり、それを、権力者の都合の良いように変えられてしまっては困ります。

ロシアを口実に、憲法を変える動きが加速化していますが、現政権下で憲法を変えたら――

現行の『権力を縛る憲法』が、『国民と人権を縛る憲法』に大きく変質してしまいます!!

対話の中で、そうしたお話をさせていただくと「それは困る！署名をしたい」と、賛同して下さる方もいます。人権・福祉・教育・労働・平和・自由・平等・公衆衛生…。今必要なことは、憲法を活かした政治の実現です。

私たちの憲法くん(※)に、もっと頑張ってもらおうときです。



※テレビで会えない芸人
松元ヒロさんの憲法くん→



【自民党が求める改憲案】

- ①自衛隊が、海外で無制限の武力行使ができるようになる(専守防衛の枠を飛び越える)
- ②緊急事態条項で、「緊急」を口実に権力を内閣に集中。有事には国会をとばして内閣の判断で、人権制限もできるようになる(独裁政治へ)
- ③国民の「個人」という概念を、「公益を優先」と変更(人権も制約) などなど…

